

吉岡 仮装行列は、友達と古着を着て歩いた記憶がわずかに残っています。フォークダンスはありました。淡い思い出ではなかったと思います。

下川 運動会の種目で、竹の棒にぶら下がってお猿のかごやのようなことをした時に、竹の一部が肩の辺りに刺さって、今でも傷が残っています。今となっては思い出の一つです。

関貫 文化祭はどうでしたか。ありましたか。

吉岡 音楽部は人数も多く、発表の場はあったと思います。美術部も活動がたいへん盛んでした。文化祭のようなものがあったかどうかははっきりと覚えていませんが、文化関係の部活動も熱心な取組をしていたと思います。

関貫 運動会や文化祭など、学校行事の中でも大きな行事についてお話を進めてきましたが、第1回の座談会では給食の話も出てきて、第16回卒業生の森本さんの時には給食を食べてみたいのですが、給食のメニューや味など、何か思い出はありませんか。

下川 給食にはパンが出てきましたが、パンは確か3枚でした。

廣田 途中で3枚から2枚になったこともあったように思います。給食室ではへたパンを1袋10円くらいで分けてくれていました。持って帰って揚げパンにしてもったりもしました。その頃は脱脂粉乳でした。先が割れているスプーンで飲んだように思います。アルミの入れ物に入れて、しばらくすると膜がはりました。

船崎 そういえば時折茶色いココアのようなものが最初から入っていたことがあり、特においしくて覚えています。

吉岡 食べ物では鯨の肉の竜田揚げがたいへんおいしくて、今でもあの味が忘れられません。あの頃の給食はお盆もなかったですね。教室へ持ってきてパ



ンとおかずと脱脂粉乳の三点セットで机の上に置いて食べました。みんなおいしかったです。

廣田 給食室の入口付近に宿直室があり、宿直の先生に呼ばれて部屋に入り、近くでとってきたうなぎを蒲焼きにして食べたり、どじょうもとってきたりしました。

関貫 高度成長期時代は、戦後20年ほど過ぎていまして、生徒数も団塊の世代まではいかなくても多い時代でしたが、中学校卒業後の進路についてはいかがでしょうか。

吉岡 私の頃には阿南高専ができて5年ほど経ったところで、そこへ進学する人もいました。学力だけでなく、家庭の仕事の状況により、工業系や農業系の高校へ進学をしていた人もおり、幅広い進路選択をしていたように思います。当時は学区制もなく、徳島市内や他の地域へも多岐にわたる進路があり、自分の家を継ぐという意志で進路を決めたり、他府県への企業内進学もいたように思います。そしてある程度は行きたいところへ行く感じで、ほとんどが進学する時代への過渡期であったのではないのでしょうか。

下川 テニスなどのスポーツ関係で、トヨタや住友金属や大阪ガスなどへ先輩や同級生が行った覚えがあります。

廣田 県下の広い範囲で進学していたように思います。今の時代と比べて、私たちはある程度行きたいところへ行けたような時代であったように思います。

関貫 吉岡さんの言うとおりの座談会1でも生徒も家族での労働力の一人になっているので、そのことを考えた進路選択が多かったと言っていました。

下川 私たちの時の通学についてですが、自転車通学が学校より半径2キロ以内の人には認められていませんでした。私は2km以内でしたので、田んぼの間を歩いて通ったり、近道を通って登校しました。船崎さんも学校から近いので当然歩きでしたね。

船崎 僕らは立江小学校でしたが、中学校になって櫛淵小学校と芝田小学校と合わせて立江中学校へ来ることになって、コミュニティも広くなり人数も多くなり知らない人とクラスが一緒になったことが一番印象に残っています。

関貫 それでは、これまでいろんな思い出やエピソードを語っていただいたのですが、最後に立江中学校への閉校への思いや、新中学校への期待などに